『ふくしまスイーツ賞味会』
藺浦健太郎外務副大臣による開会挨拶
(平成 29 年 5 月 10 日 (水) 13:30-14:10, 於: 帝国ホテル)

- 本日は、長沢復興庁副大臣，矢倉農林水産大臣政務官，小林福島市長，中村シェフや田中シェフなど日本を代表する料理人の皆様のご列席の下，「ふくしまスイーツ賞味会」を開催でき大変光栄です。また各種メディアにもお集まりいただき，誠にありがとうございます。
- 東日本大震災では，津波や原子力災害による甚大な被害が発生し，農林水産業における被害額の合計は 2 兆円を超えました。復旧・復興は着実に進んでいますが，6 年経った今も，原発事故に伴う風評が未だ残っていると認識しており，福島県産をはじめとする日本産食品に対する輸入規制が見られます。
- 外務省も，関係省庁と連携し，在外公館を通じた日本産食品の安全性に関する情報発信，輸入規制の撤廃・緩和への働きかけ，福島産品を含む日本の農産品や食品の魅力発信に努めています。
- 確固たる安全性に根ざした食料安全保障の確保は，食料の多くを輸入に依存する我が国はもちろん，世界全体にとっても重要な課題です。そして，この課題に取り組んでいるのが国連食糧農業機関，^フ^ァ^オ F A O であり，本日はグラツィアーノ事務局長が 4 年ぶりに来日し，御出席いただいています。
- F A O は中立的な立場から技術的・専門的知見を提供し，食品安全規格などのルールメイキングに貢献しており，それら規格を踏まえ，福島産品を含む日本の農産品や食品は厳格に管理されています。
- 本日は，福島市から提供いただいたおいしい果物を使い，福島の復興を応援すべく，日本有数の料理人の皆様が心をひとつにして作ってくださった極上スイーツが用意されています。世界のフードガバナンスの中核を担うグラツィアーノ事務局長はもちろん，参加者の皆様にもご賞味いただき，皆様の笑顔が福島はじめ被災地に届き，東日本大震災からの復興の一助となることを心より祈念し，開会の挨拶といたします。

(了)

(759 字 : 約 3 分)